

2025
8/8

金

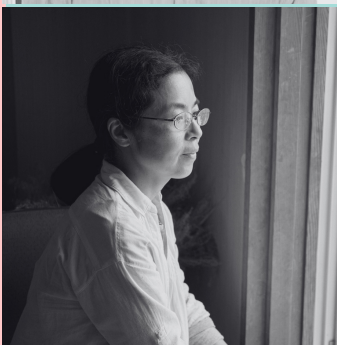
18:30
|
20:00

「本」を通じて、人と人が出会い、つながっていくこと。そうしてまちが紡がれていくこと。これは東開文化交流サロンが目指す図書室の姿でもあります。

「本」にまつわる3人の実践家をお招きして、「本」に秘められた可能性についてお話を伺っていきます。



NUMABOOKS 代表
ブック・コーディネーター
内沼 晋太郎



森の出版社ミチクル
来嶋 路子



またたび文庫
羽地 夕夏

会場 苫小牧市東開文化交流サロン
対象 どなたでも *中学生以下は保護者同伴でご参加ください
参加費 無料/事前申込制
定員 先着三十名

人をつなぐ、まちを紡ぐ。
そういう「本」と「場」について語る。



会場HP



Instagram

人をつなぐ、まちを紡ぐ。

そういう「本」と「場」について語る。

2025
8/8

金

18:30

20:00

ゲストスピーカー



NUMABOOKS 代表
ブック・コーディネーター

内沼 晋太郎

1980年生まれ。NUMABOOKS代表、ブック・コーディネーター。株式会社バリューブックス取締役、新刊書店「本屋B&B」共同経営者、「日記屋 月日」店主として、本にかかわる様々な仕事に従事。また、東京・下北沢のまちづくり会社、株式会社散歩者の取締役もつとめる。著書に『これからの本屋読本』（NHK出版）『本屋の逆襲』（朝日出版社）などがある。現在、東京・下北沢と長野・御代田の二拠点生活。



森の出版社ミチクル

来嶋 路子

1994年に美術出版社で働きはじめ、2001年『みづゑ』の新装刊立ち上げに携わり、編集長となる。2008年『美術手帖』副編集長。2011年に暮らしの拠点を北海道に移す。以後、書籍の編集長として美術出版社に籍をおきつつ在宅勤務という形で仕事を続ける。2015年に独立し、2018年に「森の出版社ミチクル」主宰。『山を買う』など北海道ならではの本づくりを行う。地域の仲間と本をつくるレーベル「ローカルブックス」も刊行中。



またたび文庫

羽地 夕夏

1998年沖縄県出身、金沢大学国際学類卒業。出版社ディスカヴァー・トゥエンティワン勤務を経て、北海道の白老町へ移住。人口1万5千人の白老町を拠点に、本屋「またたび文庫」を運営しています。移動本屋、イベント企画運営、選書サービスなどを通じ、「まちの文化の集積所」としての、あたらしい本屋のかたちを模索中。2024年5月に店舗を改装オープン、翌2025年5月に同じ白老町内に移転し、現在は週5日営業中です。

申込方法

以下の項目を会場窓口、メール、電話、FAXのいずれかでお知らせください。

- ① 参加者氏名
- ② お住いの地域
- ③ 連絡先（電話番号）
- ④ 参加人数

- * 中学生以下のお子さんが参加される場合はその旨をお知らせください。
- * ご配慮が必要な場合は、あわせてお知らせください。
- * 主催者による写真・映像の撮影を行います。SNS、HP、チラシなどで使用させていただく場合がございますので予めご了承ください。ご了承ください。難しい場合は申込時にお知らせください。

東開文化交流サロン図書室 夏季開室時間延長のお知らせ

絵本ホールや学習スペースも使用できます

2025
8/4 → 11
月 月

開室時間 9:00 ▶ 21:00

図書貸出時間 9:00 ▶ 19:00

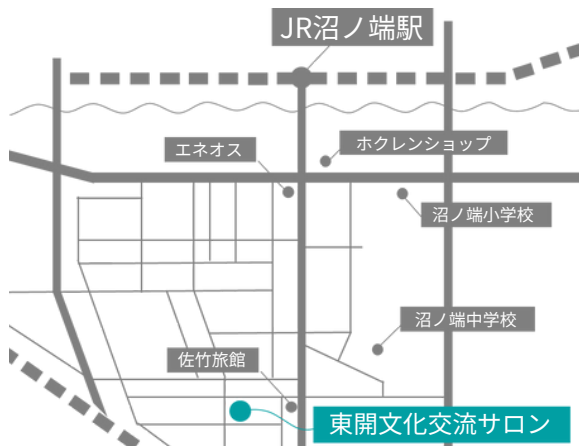
主催・会場

東開文化交流サロン

Tokai Regional Cultural Exchange Center

〒059-1301 苫小牧市東開町2丁目12-22

- 公共交通機関：JR沼ノ端駅から南へ徒歩12分
- 車でのアクセス：新千歳空港から約25分
無料駐車場あり（39台）



✉ tokaisalon@yu-yu.or.jp

☎ 0144-84-7956

📠 0144-55-3211